

平成25年度事業報告

1、事業経過

柏崎市シルバー人材センターは、昭和55年に設立され、現在1,085名の会員が在籍しています。

平成25年度はマイナス予算の厳しいスタートとなりましたが、会員、役職員の努力により、年度末の受注額は約4億6,070万円（対前年比2.1%増）となりました。

内訳は公共事業と一般家庭からの受注は残念ながら減少していますが、民間企業と介護事業が伸びています。

年度途中から一般労働者派遣事業が一部導入され、そちらに移行したり、契約終了になった業務もあり、一概に前年度との比較が出来ませんが、全体として少しずつ景気回復の兆しが見えてきたように感じられます。25年度は大幅な理事の改選、理事長及び事務局長の交代があり、事務局組織の一部改編を行いました。

高齢者生活援助事業では、独居や老々世帯で介護を必要としている方々や障害者で比較的低所得者を対象に生ゴミ収集や冬期間の除雪の支援を行いました。

「シルバーふれあいサロン やまゆり」は、ボランティアの活躍により会員と市民の生き甲斐の場の創出、えんま通り商店街の活性化に貢献しました。体験型農場「みんなの農場」は企画提案事業最終年を迎え、地産地消、遊休地の有効活用、食育の推進などに大いに貢献し、産直連携による新たな独自事業へ移行するための準備を着々と進めました。

ワークプラザ柏崎は、指定管理者2期目の最終年を迎え、利用者は98,716人（4.9%減）、利用件数は4,830件（0.1%減）となりましたが、利用料金は10,094,815円（2.4%増）となり、稼働率では市内トップの公共施設となりました。

本体事業

受注件数	10,381件	前年比	0.7%減
就業延人員	111,627人日	〃	8.7%増
配分金合計額	378,604,622円	〃	1.9%増
受託金額	460,784,691円	〃	2.1%増
年間就業率	89.2%	昨年度	87.5%
会員数	1,085人	〃	1,137人

一般労働者派遣事業

受注件数	14件（実数2件）
就業延人員	318人日
会員賃金	555,936円
契約金額	700,482円

2、部会活動

広報部

「シルバーだより柏崎」年2回の編集、発行しました。

第106号 7月15日 10頁

第107号 1月15日 10頁

※全号カラー印刷とし、見やすい広報をこころがけました。

1号あたり3回の編集会議を開き、編集内容を決めたのち、寄稿依頼、取材、写真撮影を行いました。編集作業は、パソコンを活用し、割り付け、校正などの編集作業を能率良く行っています。

事業部

本年度も例年通り、リサイクル事業を中心に活動しました。また、事業啓発活動として、びっくり市において、街頭チラシ配布を行いました。

1. EMボカシ・・・生ゴミの減量化を目的にし、「生ゴミ堆肥化推進事業」で柏崎市と連携しています、やまゆりでの販売も順調でリピーターも多く市民に喜ばれています。在庫を切らさないよう製造しました。
2. 介護用品貸し付け・・・介護保険の充実により当初の役割を終え今年度

- をもって終了しました（回収のみ受け付けています）
3. チャイルドシート貸付け・・・来客も多く、市民に浸透定着しており、人気商品で、多くの方から利用していただきました。
 4. 刃物研ぎ・・・びっくり市他市内15会場で実施しました。天候に左右されるため安定した配分金が出せず、作業者に迷惑をかけていますが、皆さんは協力的で気持ちよく作業していただいています。どこの会場でも年々持ち込み量が減少しています。
 5. リサイクル自転車・・・市から17台払い下げがありました。ワークプラザ柏崎感謝祭で販売し、即日完売しました。大変人気商品です。
 6. ふれあいサロン「やまゆり」・・・120人のボランティアが運営する全国でも珍しい直売所として、平成24年度「キラッと光るいいお店」新潟県知事賞（奨励賞）を受賞店として、今年度も各方面から取材や視察を受けました。開発の進む「えんま通り」の中核として、様々なイベントにも参加し地元には欠かせないお店として定着してきました。年間売り上げは、当初目標の800万円を大きく上回り、市民の憩いの場所としても親しまれています。
 7. みんなの農場・・・企画提案事業として3年目が終了、地産地消、遊休地、耕作放棄地の有効活用、後継者育成、地域間、世代間交流、食育の推進など様々な観点から野菜作りを推進しました。
体験型農場として様々な団体や市民を受け入れました。シニアワークプログラムによる、営農サポーター講習とも連動し、野菜作りに興味のある高齢者の育成の場として位置づけられています。
地元特産野菜のふしなりきゅうりの栽培も定着し、大きな成果を上げました。また、直売所との連携、地元レストランや、柏崎刈羽食育応援団の事業とも連携し、野菜を通じた新しい高齢者の活用に大きく貢献を始めています。

女性部

1. 福祉・家事援助サービス事業及び、介護保険事業の拡大を図る一環として、柏崎市社会福祉協議会主催のシニアじまん展でシルバー人材センターの展示コーナーの飾り付けや、来場者へのPR活動、また、ワークプラザ柏崎感謝祭を手伝いました。また、機会があるごとに身近な一般の方へロコミ活動を行いました。
2. 就業の質の向上・拡大のため、身近な食材で作れる彩りの良い高齢者に優しい料理講習会や、柏崎消防署講師による救急法講習会を実施しました。
3. 会員や一般の方の交流の機会や健康維持の参考になればと、健康教室を開催しました。
4. 「やまゆり」への出品に協力するため、月に2回手芸教室を開催し、手芸や編み物など「やまゆり」に販売できる商品の製作の手助けをしました。

研修部

1. 会員研修会
北陸農政局 長岡地域センター 消費・安全グループの桑原様、大矢様より「気をつけていますか毎日の食事」と題して、食品の安全と食事バランスについて講演していただきました。
2. 事業普及啓発促進活動
・クリーン作戦
シルバーの日を中心に会員役職員が一体となり、公共施設、歩道等の清掃ボランティア活動を実施しました。

・会員増強、就業拡大のためのPR活動
ワークプラザ柏崎感謝祭で、会員作品の展示とパンフレットを配布しました。
シニア作品・じまん展（老人クラブ連合会と共催）に参加しました。シルバー人材センター紹介コーナーでは女性部にご協力頂き、パネル・手芸作品の展示とパンフレットを配布しました。

安全部

平成25年度重点目標「健康と安全は自ら守り意識を高めて「事故ゼロ」を目指す」を実施計画として、会員一同が安全・適正就業に努めてきたところではありますが、本年度は残念なことに当センター設立以来例のない重篤事故と重大事故が発生しました。この事故を教訓に二度と起こさないため、安全対策委員会を設け検討し、平成26年度以降は会員一同が安全意識を再確認して安全就業に心がけることにしました。

具体的な活動内容は次の通りです。

- 1、事故防止の協力要請
 - ・安全・適正就業推進委員及び職群班合同会議を開催 約150名出席
 - 事故防止の基本である危険予知訓練を実施
- 2、就業現場の安全就業パトロール（安全・適正就業推進委員）を実施（2回で4班）
- 3、その他
 - ・家族への就業先の明確化
 - ・事故発生状況の原因究明と再発防止の周知徹底
 - ・「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
 - ・県連合主催の安全・適正就業対策推進研修会出席（6月）
 - ・平成25年度事故発生状況 シルバー保険対象事故は9件発生
 - 内訳は損害事故7件、賠償責任事故（対物）2件となっている

総務部

経営革新委員会で検討された内容を元に、中長期計画に沿った運営の検証を行いました。

会員間の親睦を深めるため日帰りの研修旅行（長野そば打ち体験）や、会員新年会を実施しました。

やまゆり委員会を中心に、団塊世代の生き甲斐の創出とシルバー事業のワンストップサービスを実現するため、シルバーふれあいサロン「やまゆり」を運営しました。

農業支援委員会を中心に、野菜作りに特化した「みんなの農場」運営を行いました。

3、介護保険事業

訪問介護事業（ヘルパー事業）

1,458件 50,149,880円 前年比25.7%増

居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

1,874件 24,448,056円 前年比4.6%増

*ヘルパー事業は会員の就業のため事業実績にも含まれています。

4、ワークプラザ柏崎

第2期指定管理者最終年にあたり、「親しまれる公共施設」を心がけました。

実施したアンケート調査では、大勢の方より「利用しやすい施設」とのお声をいただきました。

過去の実績や新しい取り組みが評価され、来年度より5年間指定管理を請けることになりました。

空き部屋有効活用を目的とした自主事業も充実し、秋には、「カワイイ」をテーマにワークプラザ柏崎感謝祭を開催しました。